

夏休みの自由研究で、インターネットや図書から他の人の論文を無断でうつす

理科
5・6年

夏休みの自由研究での論文まとめを作成する場面を想定した事例。「段階的指導モデル」の「A」と「C」に該当する事例である。

5分の指導でモチベーションが高まる



まとめるって難しいなあ。
インターネットに似たようなまとめがあったから、まねちゃおうかな。



参考にするのはいいけれど、そのままうつして自分のまとめにはできないのよ。実験や観察で苦労してまとめたものを無断で使われてしまったらどんな気持ちになるか、考えるべきよ。



インターネットや図書の論文は、他の人が考えたものだから、無断でうつして発表したりしてはいけないんだ。自分の考えを自分の言葉でまとめることが大切だよ。どうしても使いたい場合にはルールがあるから、相談に来てください。

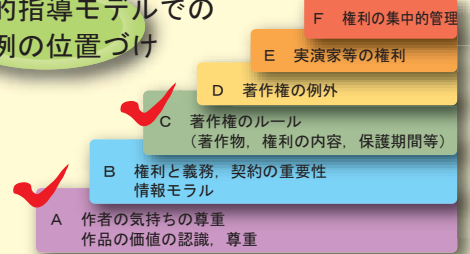
「著作権教育」の学習のねらいと指導のポイント

- 自分の考えを自分の言葉でまとめることの意義を理解させる。
- 自由研究において、研究の計画を立てる際の手引きとしてインターネットや図書を参照するのはよいが、そのままうつしてはいけないことに気づかせる。
- 必要に応じて「引用」の範囲とそのルールについて指導する。

他の教科への応用例

- 国語や社会科、総合的な学習の時間などでの学習のまとめ

段階的指導モデルでの 本事例の位置づけ



学習内容	教師の発問と子どもの反応	留意点
<ul style="list-style-type: none"> ●自由研究のまとめを小論文にさせる。 	<p>発問例：夏休みの自由研究の実験や観察を発表できるように、小論文にまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを参考に調べる。 ・図書館の図鑑などを調べて参考にする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろなものを参考にするときの注意について考えさせ、話し合う。 	<p>発問例：参考にしてもいいなら、そっくりまねてもいいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまりよくないけど、その方が楽だから。 ・そっくりまねるのはよくない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じて「引用」する際のルールについて説明し、理解させる。 	<p>発問例：どうしてそっくりまねてはいけないのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察の結果を苦労してまとめたものをそっくり無断で使われたらどんな気持ちになるか考えてみよう。 ・いやな気持ちになる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・論文の文章が著作権に関連する著作物のひとつであることを理解させる。 ・他の人の文章を引用する際に、出所の明示などのルールを理解させる。 ・自分で調べて書いた部分と、他の人が書いた部分を分けて、誰が書いたかを分かるようにすることを示す。 ・自分の考えを自分の言葉でまとめることの大切さを理解させる。 	

この事例の実践に参考となる教材・資料

文化庁「楽しく学ぼうみんなの著作権」(小学生のための著作権教材 真似してかいたらいけないの? コピーしてはいけないの?)

<http://chosakuken.bunka.go.jp/tanoshiku/>



文化庁「著作権なるほど質問箱」(「引用」で検索)

<http://chosakuken.bunka.go.jp/naruhodo/>

